

第 4 次高砂市総合計画基本構想案骨子

1. 社会経済情勢の変化

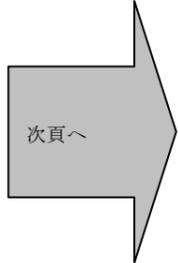
- 1) 少子高齢化の進展
 - ・人口減少社会の到来のもと、少子化・高齢化に対応した社会システムの見直しへ
- 2) 価値観・ライフスタイルの多様化
 - ・物的充足よりも心の豊かさが問われる時代、個性化・多様化した市民ニーズに対応
- 3) 暮らしの安全・安心の確保
 - ・事故、犯罪、災害、食品・製品の安全性等への総合的な危機管理対策が必要に
- 4) 循環型社会への転換
 - ・環境保全、資源・エネルギーの有効活用等、自然と共生する低炭素社会の実現へ
- 5) 高度情報化社会の進展
 - ・情報通信技術の積極的な活用による新たなコミュニケーション社会への対応へ
- 6) 産業・雇用構造の変化
 - ・グローバル化の一方、海外移転による空洞化や国内景気の低迷で就業構造が変化
- 7) 地方分権改革
 - ・自立的な行財政運営が求められ、地域課題に対応した市民との協働が重要に

2. 高砂市の地域特性

- 1) 自然的・地理的特性
 - ・兵庫県播磨地方の南東部、播磨平野のほぼ中央部に位置する。東及び北は加古川市に、西は姫路市に接し、南は瀬戸内海播磨灘に面した面積 34.40k ㎡の都市。北西部、中央部には丘陵、南北にはいくつかの川がある。瀬戸内海型の温暖な気候。
- 2) 歴史的的特性
 - ・県下一の流域面積を持つ加古川河口に堆積した砂浜地帯に発達した白砂青松の風光明媚なところとして知られ、北部では農業が、臨海部では泊が栄えた。加古川流域の農産物の集散地と瀬戸内航路の港町として栄え、周辺地では、製塩業や綿業が盛んに行われ、飛躍的に発展。
 - ・昭和 29 年 7 月高砂町、荒井村、曾根町、伊保村が合併し、県下で 17 番目の市として誕生し、昭和 31 年には、米田町、阿弥陀村、昭和 32 年には、北浜村と合併し現在に至る。この間、山陽鉄道（現 JR 山陽本線）や播州鉄道高砂線（現 JR 加古川線）が開通。
 - ・明治以降、臨海部に大工場を誘致し、近代工業地帯へと著しく変貌。昭和 36 年からの埋め立てにより、大企業の進出が続き、播磨臨海工業地帯の中核をなす。
- 3) 経済的・社会的特性
 - ・総人口は、平成 21 年現在 96,893 人、世帯数は 38,126 世帯。過去の推移をみると平成 10 年の 99,422 人をピークに減少局面へ。平成 19 年より回復基調となり微増している。
 - ・年齢 3 区分人口比は、年少人口 15.9% (H12) →14.3% (H21)、生産年齢人口 70.0% (H12)→65.3% (H21)、高齢者人口 14.2% (H12) →20.4% (H21) と少子高齢化へ。
 - ・産業別就業者数の構成は第一次産業、第二次産業ともに年々減少し平成 17 年にはそれぞれ 0.5%、36.1%。一方、第三次産業は年々増加し、平成 17 年には 61.5%。
 - ・平成 18 年の第二次産業の事業所数は 625、第三次産業の事業所数は 2,866 である。
 - ・工業統計による製品出荷額等は、平成 15 年以降増加傾向で平成 19 年は 9,132 億円。事業所数は、平成 14 年までは年々減少しその後は横ばいで平成 19 年には 158。従業者数は、平成 17 年までは減少し 11,471 人となったが、その後増加し平成 19 年には 14,598 人に。
 - ・商業統計による商店数は平成 3 年以降、年々減少し平成 19 年には 903 に。従業者数は、平成 3 年より増減後、平成 19 年に 6,182 人に。年間商品販売額については、平成 9 年以降、平成 16 年までは減少し、平成 19 年にやや回復し 1,165 億円となっている。

3. 現状の認識

- 【市民アンケート】
 - 現在のイメージ
 - ・買い物などの日常生活の便利さ、大都市部への交通利便性の高さが魅力
 - ・プライダル都市のまち、住宅のまち、自然環境豊かなまち
 - 将来の都市像
 - ・福祉・健康・医療・高齢化対策が充実した福祉都市
 - ・道路、下水道、公園、消防施設などの都市基盤が整備された災害に強い、安全に暮らせる安全都市
 - ・心のふれあいや助け合いの精神があり、人のぬくもりが感じられるコミュニティ都市
 - 関心のある主要施策
 - ・高齢者福祉の充実、保健・医療の充実、市民生活の安全、児童福祉の充実、環境保全対策の充実
- 【事業所アンケート】
 - 将来の都市像
 - ・福祉・保健・医療・高齢化対策が充実した福祉都市
 - ・産業、工業の盛んな活みなぎる産業都市
 - 関心のある主要施策
 - ・商工業の活性化、高齢者福祉の充実、保健・医療の充実
- 【中学生アンケート】
 - 居住地域に 10～20 年後に望む事
 - ・緑や水辺などのうるおいに満ちたまち、防犯・防災に優れた安全・安心なまち、豊かな自然環境や田園環境などにめぐまれたのどかなまち
 - 望ましいと思う高砂市の将来像
 - ・海や山、川などの自然環境が豊かなまち、地域の人がお互いに助け合い人のぬくもりがあるまち、史跡や文化財・伝統文化がいつまでも残っているまち
- 【総合計画「まちづくり（職員）」提案】
 - 市民福祉
 - ・虐待への対応と専門員配置・障害福祉サービスの環境整備・ひとり暮らし高齢者支援策・介護予防事業の推進
 - 都市基盤・生活環境・施設整備
 - ・道路網の充実・高砂駅及び駅前整備・じょうとんバス運行見直し・図書館設備の充実・スポーツ公園・ごみ有料化と資源ごみリサイクル化・市営住宅の集積・定住者確保のためのベッドタウン化推進・災害時対応公共施設等の耐震化・安全安心及び危機対応のまちづくり・関西電力跡地活用
 - 産業・雇用
 - ・新産業の創出・雇用確保と企業誘致・ご当地グルメ等で商業活性化・真のプライダル都市へ
 - 行政と市民の協働
 - ・広聴の強化・住民協働・広報誌面デザインの刷新・団塊世代の活用・証明窓口一本化・土日の開庁・財政公表
- 【地域ミーティング】
 - ・市の赤字財政の是正対策として、行政改革等に対応
 - ・市民病院の病床利用率を向上
 - ・高砂西港周辺再整備 ・ JR 曾根駅のバリアフリー化
 - ・阿弥陀小学校跡地の活用策の検討
- 【まちづくり意見発表会】
 - ・高砂海洋スポーツ基地づくり及び高砂海の駅づくり
 - ・歴史美観地区の形成や文化発信拠点の創出による歴史・文化・自然のまちづくり
 - ・新しい教育体系システム「高砂モデル」の創出による学力の向上
 - ・宝殿駅のクスノキに象徴される「忘れてはいけないもの」
 - ・こころの病に対して地域全体で正しく理解するためボランティアの活動の活発化
 - ・適正な介護サービスの提供と利用を
 - ・文化のまちづくりのため図書館や生涯学習センターなど新たな拠点の確立
 - ・子どもたち自身が将来に夢を持ち、愛着と誇りを持てる取組を行うことが重要
 - ・「高砂にくてん」を目玉にするなど、地域活性化に向けた中核づくり
 - ・プライダル都市として非常にめでたいまち、「縁結びのまち・高砂」を発信



4. 審議会の主要課題

【第1部会】(総務)

- 産業、安全・安心
 - ・市民への公開を十分に図り、若者への歴史継承を踏まえて、市史編さんを検討
 - ・平和意識の啓発について新たな事業や条例化の検討
 - ・市民の命を守ることを第一に、消防・救急の広域化によるメリット・デメリットを検討
 - ・ハザードマップ作成後の次の対策の検討や、自主防災組織の役割の明確化
 - ・防犯は地域の連携が一番重要
 - ・広域対応による救急医療体制の確立
- 市民参加、行財政運営
 - ・市と市民の意見交換の公開等、市民参加・協働のあり方の検討
 - ・市民ニーズを取り入れ、時代に合った部局体制づくりと職員の質の向上
 - ・行政が本当にやるべきこととそうでないことの仕分けを踏まえ、真に必要な行政サービスの検討
 - ・健全な行財政運営と行政評価システムへの対応

【第2部会】(建設経済)

- 生活
 - ・課題と目標を明確化、計画を見直すスタンスが必要
 - ・消費者教育についてはまだ必要
 - ・男女共同に基づく少子化対策、性的役割分担意識は正に向けた広報啓発の推進
 - ・市民の評価を取り入れ、市民の意見を取り入れた事業の推進
 - ・ホームページを市と市民の対話の場に
 - ・地域のコミュニティ活動の活発化
- 環境
 - ・緑化の推進、子どもから大人まで集える、緑のある公園づくり
 - ・子どもも高齢者も集えて運動できる公園の検討及び安全性の確保と遊具の点検を
 - ・地域の保健衛生活動の充実につき、路上美化のための喫煙防止策の検討
 - ・文化振興につき、行財政面からの削減でなく援助が必要
 - ・みなとまちづくりにおいて、文化・歴史資源の充実や整備を検討
 - ・うるおいと安心の充実による、住みたいと思ってもらえる魅力あるまちづくり
 - ・環境保全面で太陽光発電への助成や低炭素社会の実現に向けたコンパクトシティの提案
 - ・資源リサイクル、ごみ処理、し尿処理についての情報公開
 - ・耐震改修促進計画の進捗、完了予定の明示
 - ・車道、歩道、自転車道に対する安全の取組、今後の方針づくり
 - ・夢を持てるまちづくりビジョンの明確化
 - ・水道の財源確保、節水の啓発、下水処理の状況の提示
 - ・コミュニティバスの利便性の向上
 - ・広域幹線道事業の推進
 - ・「海の駅」など、親水性のある子どもが遊べて市民が憩える場づくり
 - ・駅周辺整備による、高砂の魅力アップ
 - ・農業、水産業、工業、商業の実態の明示
 - ・プライダル都市として、ソフトの充実による全国への発信
 - ・万灯祭、秋祭り、にくてんなど催事や名物の訴求、観光と文化の連動による推進

【第3部会】(文教厚生)

- 福祉
 - ・障害児福祉を児童福祉に
 - ・保健衛生面では、健診、予防、食育について明確にして取り入れ
 - ・社会保障に関する市の方針を明示(国民健康保険や国民年金)
- 教育
 - ・子育て広場事業、幼保一体化等の市としての考え方の明示
 - ・適応指導教室、不登校対策に注力
 - ・教師側の視点だけでなく子供や親の視点での障害児教育が必要
 - ・新図書館計画は慎重な審議が必要
 - ・青少年の健全育成のための指導者育成と人材確保
 - ・歴史文化基本構想、指定管理者制度による施設運営、文化財について明示
 - ・人権問題は障害者問題と関連しているので、全体での協議も必要

5. 課題の集約

◆将来像	●核となる市の新しいイメージづくり、まちづくりを検討することが必要
◆福祉	●プライダル宣言都市として、観光振興とあわせた実体的な事業実施が必要
◆健康・医療・保健衛生	●障害者(児)、高齢者、ひとり親家庭、低所得者等への配慮が必要
◆社会保障	●保健衛生面では、予防的な事業を明確にし、地域医療面では市民病院含めた体制整備が必要
◆教育	●害虫駆除だけでなく、喫煙防止策などの検討が必要
	●国の制度としての社会保障について、市の方針も明確に打ち出すことが必要
	●幼保一体化のさらなる推進が必要
	●教育面では、子どもだけでなく親の教育や家庭教育の視点が必要
	●性的役割分担の是正に向けた意識啓発、男女共同で参加できる地域社会の構築が必要
◆青少年	●青少年の健全育成に向け、若い指導員の養成とともに団塊世代の登用も視野に入れることが必要
◆文化・自然・歴史	●図書館、教育センター、スポーツ拠点等の機能を再構築することが必要
	●文化振興の面で、文化財の明示、美術イベントの実施、秋祭り等をアピールすることが必要
	●高砂の自然・歴史・文化資源を充実させ、緑が豊かで、人が住みやすいまちづくりが必要
◆安全・安心	●防災面では、建物の耐震化や市民の耐震意識の向上、浸水対策が必要
	●消費者教育を推進し、低炭素社会における消費生活相談の実施が必要
◆基盤整備	●都市基盤整備については、市街化調整区域のまちづくりに向けた取組みが必要
	●ごみ削減の啓発や有料化によるごみ処理を検討していくことが必要
	●斎場の管理・運営の見直し、市有墓地の整備が必要
	●道路の拡幅とともに、車道、歩道、自転車道の分離を進める取組みが必要
◆公園	●公園については、子どもからお年寄りまでが集まれ運動もできるような場が必要
◆環境保全	●低炭素社会、コンパクトシティを実現し、資源リサイクルを推進する取組みが必要
◆農業	●農業分野では団塊世代退職者向けの貸し農園を検討することが必要
◆水産業	●水産業分野では、河川ごみ対応策が必要
◆工業	●工業分野では、退職者の持つ技術を活用できる仕組みづくりが必要
◆商業	●商業分野では、商店街活性化、商工会議所と連携や他産業との一体化が必要
◆グローバル化	●グローバルな人材育成による国際化を図ることが必要
◆市民参画	●各種媒体を駆使して、市民が参加しやすい体制づくりを行い参画と協働を推進することが必要
◆行財政運営	●評価と点検を重視した、市民に開かれた行財政運営が必要

5-1). 構想の方向性

●福祉、保健、医療のネットワーク化による相談支援体制が必要	⇒健康・福祉
●育児に始まり、就学前教育、義務教育、高等教育、生涯学習へとつながるライフステージに応じた切れ目のない支援が必要	⇒教育・文化
●自然・歴史・文化資源を再構築し人々が行き交う地域内外の交流づくりが必要	⇒安全・安心
●生命への敬意とあらゆる人間を尊重する意識啓発と保障・保護が必要	⇒都市基盤・生活環境
●安全・安心な暮らしを守るための多方面にわたる危機管理対策が必要	⇒産業・観光・交流
●基盤整備による日常的に住みやすい環境づくりが必要	⇒市民参画
●コンパクトな面積の市域における利便性や周遊性を確立したまちづくりが必要	⇒地域経営
●環境と経済の調和を図り、持続可能な循環型社会の具体化が課題	
●様々な産業の活性化に向け、農林水産業、商工業の横断的な連携が必要	
●産業のサービス化に伴う高度化への対応と情報網形成のための支援が必要	
●グローバル視点での社会経済情勢や環境問題への対応が必要	
●プライダル都市としての全国的な周知と住民吸引のための仕掛けづくりが必要	
●市民参画に向けた情報開示や広報・広聴等受発信体制づくりが必要	
●公共施設整備に関する必要性の吟味や財源確保が課題	
●地域経営視点での行財政運営のため、事業遂行に関する評価・点検が必要	



6. 将来都市像の設定

●基本理念

暮らしを支える「衣・食・住・遊・知・休」という分野にわたり豊かさが実感でき、自然や歴史・文化、産業に恵まれた環境で健やかに楽しく安心して住み続けられ、住んでいることに誇りを持つ生活文化都市をめざします。

まちづくりの主役は一人ひとりの市民であることを念頭におき、市民の安全・安心を第一に考え、「健康」「環境」「文化」をキーワードに、市民とともにまちづくりを進めます。

健康：少子高齢社会に対応する福祉・保健・医療の充実を図り、いつまでも安心して暮らしていけるまちづくり

環境：自然と共生し、生活・都市基盤の充実に努め、地球環境にも配慮した、将来にわたり住みよいまちづくり

文化：歴史文化を再認識し、保存、継承、発展させ、新たな文化を創造し、ふるさと意識あふれるまちづくり

このようなまちづくりを進めるため、めざすべき都市の将来像を次のとおり設定します。

●将来都市像

●将来都市像<例>

～歴史を未来へつなぐ、人・文化・産業がきらめく～

生活文化都市 高砂

～夢と希望と誇り高まるまち～

生活文化都市 高砂

～元気いっぱい、夢いっぱい～

生活文化都市 高砂

～こころ豊かな生活重視のまち～

生活文化都市 高砂

～個性きらめき、夢かがやくまち～

生活文化都市 高砂

等々 もっと多く掲載し、審議会での意見を聞いて最終的にキャッチフレーズを盛り込む。

7. 施策の大綱

I. 誰もがいきいきと暮らせる健康福祉都市

すべての市民が、住み慣れた地域の中で、自分らしく、自立した生活を営むことができる社会を築くため、その基盤となる福祉・保健・医療に関する施策の一層の推進をはかり、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備、高齢者や障がいのある人など生活支援を必要とする人々が、いきいきと暮らせるまちづくりを進めます。
また、自助、共助、公助の相互の連携をとりあい、地域社会が一体となるまちづくりを進めます。

II. ふるさとを愛し思いやりとたくましが育つ教育文化都市

人権尊重の理念に基づき、次世代を担う子ども達の変化の激しい社会の中で自立的に生きていくために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の3つの資質能力をバランスよく育む教育を推進するとともに、学校・家庭・地域が一体となって安心して学べる学校づくりを進めます。
また、市民の健康志向にこたえる生涯スポーツの振興、芸術・文化を通じ生きがいをもって生きることのできる生涯学習社会づくりを進めます。

III. 地域の暮らしを守る安全安心都市

市民が安心な生活をおくるために、消防や救急、防災や防犯、交通安全を含めた諸施策を展開するとともに、食の安全・安心思考の向上等に伴う消費生活上の安全対策を実施します。

IV. 自然と調和した環境共生都市

市の自然、文化、歴史などの地域特性を踏まえた土地利用構想に基づき、社会情勢変化に対応しつつ、都市基盤整備を推進するとともに、コンパクトな市域において利便性ある住みやすい生活環境づくりの実現をめざします。また、地球規模の環境問題が生じている中、進展する都市機能と自然との共存・共生をはかり、持続可能な循環型の環境づくりや低炭素社会に向けた取組みを進めます。

V. 未来を拓き躍動する産業交流都市

まちが元気であるためには、地域産業の進展を図らなければならないことから、産業のさらなる振興をめざし、多彩な産業の育成、誘導を進め、企業活動の拡大、充実を図り、地産地消の推進に取組み、生き生きとした元気のあるまちづくりを進めます。
また、観光や地域交流を振興し、にぎわいのあるまちづくりを進めます。

VI. みんなの個性あふれる市民参画都市

まちづくりを総合的に推進するためには、行政情報の積極的な公開に努め、わかりやすく開かれた市政運営を行うとともに、「まちづくりの主役は一人ひとりの市民である」ことから、市民の市政への積極的な参加・参画を促進し、市民、事業者、行政の役割分担、さらには相互の連携体制を明確にし、市民と共に築くまちづくりを進めます。

VII. 親しみある簡素で開かれた地域経営都市

市民にわかりやすく透明性のある行財政運営を図り、地域の市民生活に根ざした都市を創出していくため、計画の推進に向けた評価、見直しを徹底し、効果的で効率的な行政経営を推進します。
また、広域的な視点に立ったまちづくりを進めるとともに、情報化社会に対応した行政サービスの提供に努めます。

8. 施策及び施策の分野

- 1) 市民の暮らしを支える福祉の充実
---地域福祉/子育て支援/ひとり親家庭の自立支援/障がい者福祉/高齢者福祉(介護保険を包含)/生活困窮者支援
- 2) 健康づくりのための保健・医療の充実
---健康増進/地域医療/福祉医療
- 3) 安心を確保する社会保障制度の啓発
---国民健康保険/国民年金

- 1) 自立的に生きる力を培う教育の充実
---幼児期の教育/確かな学力/豊かな心/健やかな体/特別支援教育
- 2) 命や人権を大切にす心の育成
---共生の心/生徒指導・教育相談/体験活動
- 3) 安全安心で信頼される園・学校づくり
---学校の組織力/教職員の資質能力/学習環境/教育委員会機能
- 4) 連携した教育の支援
---家庭の教育力/地域の教育力
- 5) 生涯学習社会づくり
---社会教育・生涯学習/生涯スポーツ
- 6) 創造性豊かな芸術・文化の振興
---芸術・文化/市史編さん/国際交流
- 7) 個性を認め合える人権の尊重
---人権教育・人権啓発/男女共同参画

- 1) 総合的な安全体制づくり
---消防/救急/防災/防犯/交通安全
- 2) 安心で平和な市民生活支援
---平和行政/消費生活

- 1) 快適な生活環境の充実
---水道/ごみ処理/下水道/し尿処理/畜場
- 2) 環境保全による共生と循環
---地球温暖化対策/地域環境の保全
- 3) 安全で快適な都市基盤の整備
---土地利用/交通施設(公共交通、道路を包含)/公園・緑地(緑化と公園・緑地を合体)/河川(河川・港湾)/公共施設(公営住宅)/市街地整備(駅前広場を包含)/景観まちづくり(都市環境)

- 1) 伝統的、先端的な産業の振興---農業/水産業/工業/商業
- 2) 勤労者対策の充実---勤労者対策
- 3) 地域資源を活かした観光の振興---観光/地域交流(国内交流)

- 1) 参画と協働の推進---広報・広聴/市民参画/コミュニティ

- 1) 効率的な執行体制の整備---組織・人事管理/事務管理/行財政運営
- 2) 広域化・情報化の円滑な推進---広域行政/情報施策